

マリンバイオテクノロジー学会オフィシャルジャーナル Marine Biotechnology 誌について

現状：

Marine Biotechnology 誌 (SPRINGER NATURE) —An International Journal Focusing on Marine Genomics, Molecular Biology and Biotechnology—は、マリンバイオテクノロジー学会のオフィシャルジャーナルとして明確に位置づけられ、以下のように記載されています。

- Marine Biotechnology is the official journal of:
The European Society for Marine Biotechnology
The Japanese Society for Marine Biotechnology
- Journal Citation Reports (JCR) によるインパクトファクターは、IF=2.748 (2016), 5-yr IF=2.902 です (最高値は 3.269 (2014))。
- Scimago Journal Rank (SJR) による SJR 値は 0.99 (2016) で、論文あたりの引用回数は 2.87 (2016) です

発刊以来の出版元である Springer-Verlag 社は合併により 2015 年に Springer Nature 社となりました。さらに 2018 年から Marine Biotechnology 誌の編集体制の変更が実施されました。発刊以来、3 人の Editor-in-Chief 体制 (Grant Burgess 博士が Chief editor に位置づけ) で実施して来た中で、宮地重遠先生、その後を受けた伏谷伸宏先生が中心的な役割を果たしてこられました。更に、9 名のマリンバイオテクノロジー学会員が Editorial Board Members としてジャーナルの質の向上に貢献してきました。

今回の変更では、Editor-in-Chief 一名、Associate Editor-in-Chief 二名の体制となり、18 名のマリンバイオテクノロジー学会員が Editorial Board Members に就任され、当学会の貢献がより目に見える形になっています。そのリストなどの情報は、次号に掲載される予定です。

論文投稿後の流れ：

■ (1) 論文投稿、 (2) Editor-in-Chief が分野を判断し当該論文の Handling editor を選定し依頼・決定する (自身と 2 名の Associates から選定)、 (3) Handling editor が 2 名の Reviewers に審査を依頼する (Decline without review と判断する場合も有)、 (4) 審査結果を受けて改訂、受理の可否などを判定する、 (5) 改訂プロセス=>受理 (Accept)、 (6) 編集事務局が出版に向けた事務作業や Proof Reading 依頼を実施する、 (7) Online First でウェブ上に公開する、 (8) Print 版の発行。

■一時期、論文投稿後の審査に一部大幅な遅れが生じていることが学会員から指摘され、本学会員の投稿が減少傾向になり、オフィシャルジャーナルとしての位置づけに疑問が提起され、マリンバイオテクノロジー学会大会毎に開催されてきた「ジャーナル編集委員会」（本学会員の Editorial Board Members により構成）でも指摘されました。Springer Nature への移行を機に編集担当者を含む努力がなされ、2017 年以降は徐々に事態の改善を見えています。

■2018 年 4 月号 (Vol. 20, No. 2) に掲載された論文の審査状況等は以下のとおりです。

Received	Accepted	First Online	Published (Print)
19 May 2017	28 December 2017	16 January 2018	April 2018
22 June 2017	04 January 2018	27 January 2018	April 2018
04 July 2017	19 February 2018	15 March 2018	April 2018
11 July 2017	19 September 2017	08 February 2018	April 2018
01 August 2017	14 December 2017	08 January 2018	April 2018
01 August 2017	21 February 2018	08 March 2018	April 2018
20 August 2017	11 January 2018	29 January 2018	April 2018
25 August 2017	23 February 2018	13 March 2018	April 2018,
07 September 2017	15 December 2017	12 January 2018	April 2018,
10 September 2017	12 February 2018	08 March 2018	April 2018
19 November 2017	04 December 2017	13 March 2018	April 2018,
15 December 2017	24 January 2018	28 February 2018	April 2018

オフィシャルジャーナルとしての位置づけと関係の強化：

■本学会と Springer Nature 社間の協定（5 年ごとの更新規定に基づき 2018 年に更新）において、オフィシャルジャーナルとしての位置づけを確認し、継続する。

■本学会は、Editor-in-Chief/Associate Editor-in-Chief を推薦し編集に協力する従来
の関係を維持する。

■マリンバイオテクノロジー学会は、学会年次大会において、Springer Nature 社の展示
スペースを提供する。

■本学会は、「オフィシャルジャーナル Editorial Board Members 連絡会」（オフィシャル
ジャーナル担当理事を取りまとめ役とし、メールにより意見交換を行う会員組織）にお
いて、Marine Biotechnology 誌の質を担保するための意見集約を行う。それを学会理事会、
評議員会において報告すると共に、学会からの意見・要望等を Springer Nature 社・Marine

Biotechnology 誌編集担当に伝えることで両者の関係を強化していく。

■Springer Nature 社は、本学会員に対して、Marine Biotechnology オンライン版のフリーアクセスキーを提供する（学会ホームページの English ページからアクセス可能）。各学会員は、ID と Password を学会事務局に個別に問い合わせすることで無償提供されます。

■Springer Nature 社は、Marine Biotechnology プリント版（25 部）を本学会に無償提供する。

■Springer Nature 社は、マリンバイオテクノロジー学会大会において、学会発表者へのインセンティブとして、発表者への Award の副賞として、Springer Nature 社の Book Voucher（USD200 バウチャーを 10 枚。e-Book にも適用可）を提供する。

オフィシャルジャーナル創刊の経緯：

■マリンバイオテクノロジー研究会（1988 年）の創設後、オフィシャルジャーナルとして国際誌 Journal of Marine Biotechnology (Springer-Verlag, New York) が、マリンバイオテクノロジー研究会（本学会の前身）の企画とサポートによって創刊された（1993 年）。

当該研究会は 1996 年にマリンバイオテクノロジー学会となり、オフィシャルジャーナルも継続されています。

■Journal of Marine Biotechnology (Springer-Verlag, New York) が Molecular Marine Biology and Biotechnology (Blackwell Scientific Publications, 1991-1998) を吸収合併し、新たに創刊された Marine Biotechnology (Springer-Verlag, New York, 1999 創刊) に移行しました。

このオフィシャルジャーナルの移行に関して、IMBC1994 (The 3rd International Marine Biotechnology Conference (Tromsø, Norway)) において、大会終了後特別な会議が行われました。その際、マリンバイオテクノロジー研究会会長宮地重遠先生と松永是先生が Molecular Marine Biology and Biotechnology 誌編集長他との議論の結果、当該雑誌を廃刊し（1998 年限り）、Journal of Marine Biotechnology 誌に統合し、誌名を「Marine Biotechnology」（1999 年創刊）として編集体制とポリシーを引き継ぐ形で創刊することが合意されました（本学会ホームページ：宮地重遠先生のご逝去を悼む（2016 年 7 月 15 日）。このことは、本学会（当時、研究会）のポテンシャルの高さを示すものとして本学会が誇りとするべきものとして共有したいと思います。

結語：

以上のように、1993 年の創刊後、誌名の変更を経て 25 年の歴史を有する本学会のオフィ

シャルジャーナルが、学会員各位の高い研究力に支えられて今後も継続発展していくよう、
会員各位のご協力、サポートを切にお願い致します。

尚、Marine Biotechnologyに関する件、また論文を投稿する際など、疑問点などが在り
ましたら御気軽にご連絡いただければ幸いです。

(オフィシャルジャーナル担当理事 白岩善博)